

おおの通信

Vol.
160

おおの通信 第160号
発行日:2026年7月
発行者:美山町大野振興会
0771-75-9110
fuarb100@kcn.jp

miyama_oono_official

大野地区 交流夏祭り

8/8

土曜日 午後5時～8時30分

虹の湖交流センター屋外特設会場にて

ライブ演奏

午後6時～ 伊川由香里さん(エレクトーン)

午後7時～ GRINNARS (江藤政行さん&川勝雅幸さん)

午後8時15分～ GRINNARS & FRIENDS(グリナース、伊川由香里さん、江藤つぐみさん他)

イ田舎イベント夏編参加者の皆さんとも一緒に

今夏も虹の湖交流センターにて交流夏祭りを開催します！おかえり参加も大歓迎！この時期に帰省されておられるご家族やお友だちもお誘いください。さらに今年は大野地域定住促進イベント「田舎の未来、未来のイ田舎(いいなか)」参加者の皆さん(虹の湖キャンプ場に宿泊)も合流し大野地域の雰囲気を楽しんでいただきます。大野地域のたくさんの皆さんのお越しをお待ちしています。

田舎の未来、未来のイ田舎



この機会にSUP体験も！

脇谷バイパス橋の名称募集中！



申し込みフォームがご利用できない場合は
必要事項をご記入のうえ、
美山町大野振興会までメールしてください

主な出店内容

大野屋：生ビール・ノンアル
ソフトドリンク・コロッケ

福寿庵：コーヒー・菓子パン
(ピザパンやトースト)

ふる～る：シフォンパフェ
わらび餅ドリンク・かき氷
焼き鳥

大野振興会：焼きそば

にじの子PTA：射的

今年も
先着
100名様に
お楽しみ券
進呈！

私たちが暮らす地域を「イ田舎(いいなか)」(いい田舎)にしていきたい。これからの地域について考えてもらえる地域フレンズを探したい。そんな思いから定住促進イベントを開催しています。

まだまだ参加枠がありますので、お知り合いなどで田舎暮らしにご興味がありそうな方がいらっしゃいましたら、イ田舎イベントをぜひご紹介ください。



交流夏祭りとい田舎イベントの当日の運営をサポートいただけるボランティアスタッフを募集しています。

地域の食品生産者さんを訪ねて

今回は大野ダムさくら祭り・もみじ祭りへの出品出店者様を対象とさせていただきます

大野の‘おいしい’をつくる人。

いつも食べているあの味、大野地域の生産者さんの手仕事から生まれています。
地域で活躍する生産者さんにお話を伺いました。



防腐剤・添加物無し、昔ながらの製法で作るこんにゃくと香りの良いよもぎもちを作り続けています。



萱野こんにゃくグループ

加工所: 萱野

主な商品: 手作りこんにゃく・草もち(よもぎもち)

販売場所: 大野屋・ふらっと美山・お土産処 かやの里・道の駅新光悦村・他イベント

創設は平成元年頃、現在は萱野区の女性3名で運営されておられます。代表の藤原久子さんと会計担当の小中令子さんにお話を伺いました。

グループの始まりはJA大野支所主催の秋の野菜まつりから。昔からお正月の際などに家庭でつくられていたこんにゃく作りに区の婦人総出で取り組まれたそうです。最初は餅つき機を使って加工し、防腐剤・添加物無しの製法は当初から続いています。当時は区に人が多く、さくら祭りが始まってからはお好み焼きの屋台を出店したり、おでんやよもぎの天ぷらを販売されたこともあったそうです。こんにゃくは美山小・美山中の給食にも採用されています。



他に手摘みのよもぎを使った草もち(よもぎもち)も製造販売されています。葉や茎がやわらかい4~5月の自生のよもぎを手摘みされています。よもぎの香りが良いよもぎもちはさくら祭り・もみじ祭りでも評判です。以前はすぐに固くなってしまうのが課題でしたが、研究を重ね、10年ほど前からは固くなりにくい餅に仕上げるできるようになってきたそうです。

こんにゃく、草もち共に9月後半~5月の連休あたりまで各拠点に出品販売されておられます。





お互い笑い合って暮らせる地域を目指して楽しみながら活動されています。多種多様な取り組みをそれぞれで分担されています。

向山区

主な商品:回転焼・向山焼き・ゆず・鬼ゆず・渋柿

販売場所:大野屋・大野ダムさくら祭り・もみじ祭り・バターゴルフ場でのイベント他



向山区長の福井義昭さんにお話を伺いました。

美山町の皆さんにとって懐かしさを覚える「向山みそ」は向山区の特産品でした。当時、人気が高く向山区の皆さんにとっても自慢の手前味噌でしたが残念ながら途絶えてしまいました。人口減少や高齢化など、区の将来を見据えて、現在は加工食品ではなく「柚子(ゆず)」などの食材の生産に軸足を置かれています。平成19年に補助事業を活用しゆずの栽培を始めましたが鹿などの害獣により全滅するなど幾多の危機を乗り越え、近年ようやく商品として供給できるようになったそうです。なかでもゆずは湖池屋のポテトチップスの材料にも使用されるほど。また、「鬼ゆず」はゴツゴツとした形状が特徴的な巨大な柑橘類です。古くから観賞用や縁起の良い正月飾りとして珍重されているそうです。

回転焼・向山焼きは大野ダムさくら祭り・もみじ祭りでも行列ができるほどの人気ぶりです。向山焼きは回転焼の器材を使って、ベーコン・卵・キャベツなどを具材とするお好み焼きのような商品です。婦人層で分担しながら出店されています。熟練の手際で美しく焼

き上げられた回転焼きと向山焼き。イベントなどで見かけられた際はぜひ一度ご賞味ください。

バターゴルフ場、自転車競技イベント、ゆず・柿の販売はそれぞれ担当者制で責任者を決めて運営されています。いろいろなことに取り組まれています、「楽しみながら活動ができること」を1番の目標として活動されています。



炭火で焼いたあまごはホクホクとして旨みが抜群。
清流美山川で鮎釣りやあまご釣りをぜひ！



美山漁業協同組合大野支部

主な商品:美山産あまごの塩焼き(美山産木炭使用)

販売場所:大野ダムさくら祭り・もみじ祭り

さくら・もみじ祭り会場にて出店されています。金串を刺して塩を振りじっくりと炭火で焼き上げられたホクホクのあまごの塩焼きは根強い人気があります。焼き手は大野支部の役員の皆さん。出店前のあまごの下処理も大変です。漁協大野支部はさくら・もみじ祭り実行委員会の構成団体でもあるので会場の準備・片付けもご協力いただいております、大忙しです。支部長の山名英夫さんからは「大野地域最大のイベントへの協力は惜しみません！」と心強い言葉をいただきました。



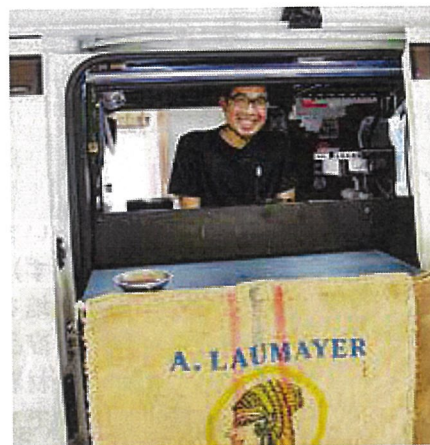


大野ダムさくら祭り・もみじ祭り・大野地区交流夏祭り(8/8)

れています。見かけられたらぜひ。



寶泉寺では椅子ヨガや仏像仏画教室もされています。詳しくは福寿庵のインスタグラムをご参照ください。



自家焙煎、オリジナルブレンドの
ドリップバックコーヒー。

The image shows several bags of coffee with a colorful, abstract logo. In the foreground, a drip bag is placed in a white cup, with coffee grounds visible. A QR code is located in the bottom right corner of the image.



大野ダムさくら祭り・もみじ祭り

音海区の最奥部にお住まいの江藤さん。住まいの一角を整えて珈琲の焙煎をされています。喫茶店で飲む珈琲のような「香りとコクのある」珈琲をご自宅でも楽しんでいただけるよう、一杯ずつ淹れるドリップバッグタイプの珈琲を販売されています。かねてからの珈琲好きが高じて焙煎の技術を習得されたそうです。今では「音(おと)ブレンド」「海(わた)ブレンド」「ホーンバ」の4種のオリジナルブレンドを主にインターネットで販売されています。華ド」「ウォルフブレンド」、コクや深みを楽しめる「海ブレンド」「ホーンバ」応されているそうです。心がけておられるのは上質な豆を仕入れ、欠点豆をと。ネット販売以外の販路も模索中です。直接の販売もできますので興味があ

京都府南丹土木事務所美山出張所様から肱谷バイパス(仮称)新肱谷橋上部工 閉合式のご報告をいただきましたのでご紹介いたします。

主要地方道路綾部宮島線(肱谷バイパス) (仮称)新肱谷橋上部工 閉合式が開催されました！

令和8年7月
南丹土木事務所 美山出張所

日頃より京都府の建設交通行政及び肱谷バイパス事業の推進にご協力いただきありがとうございます。

(仮称)新肱谷橋上部工工事は、令和5年12月の契約後、千葉工場で部材製作を進め、本年1月から本格的な部材の架設工事を始めたところ。この度、鋼部材の閉合(※)が完了したことから、受注者主催による閉合式が開催されました。

(※「閉合」とは:読んで字のごとく、閉じ合わせることで、分割して運搬・架設した各鋼材ブロックをボルトで繋ぎ合わせていき、最終ブロックをボルトで締結することを「閉合」といいます。)

当日は、晴天にも恵まれ、事業促進協議会の石田会長のほか、京都府南丹広域振興局長、京都府議会議員、南丹警察署長等の参加のもと盛大に開催されました。今後は、床版工、舗装工、高欄工等を進めて参りますので、引き続き本事業へのご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

【閉合式概要】

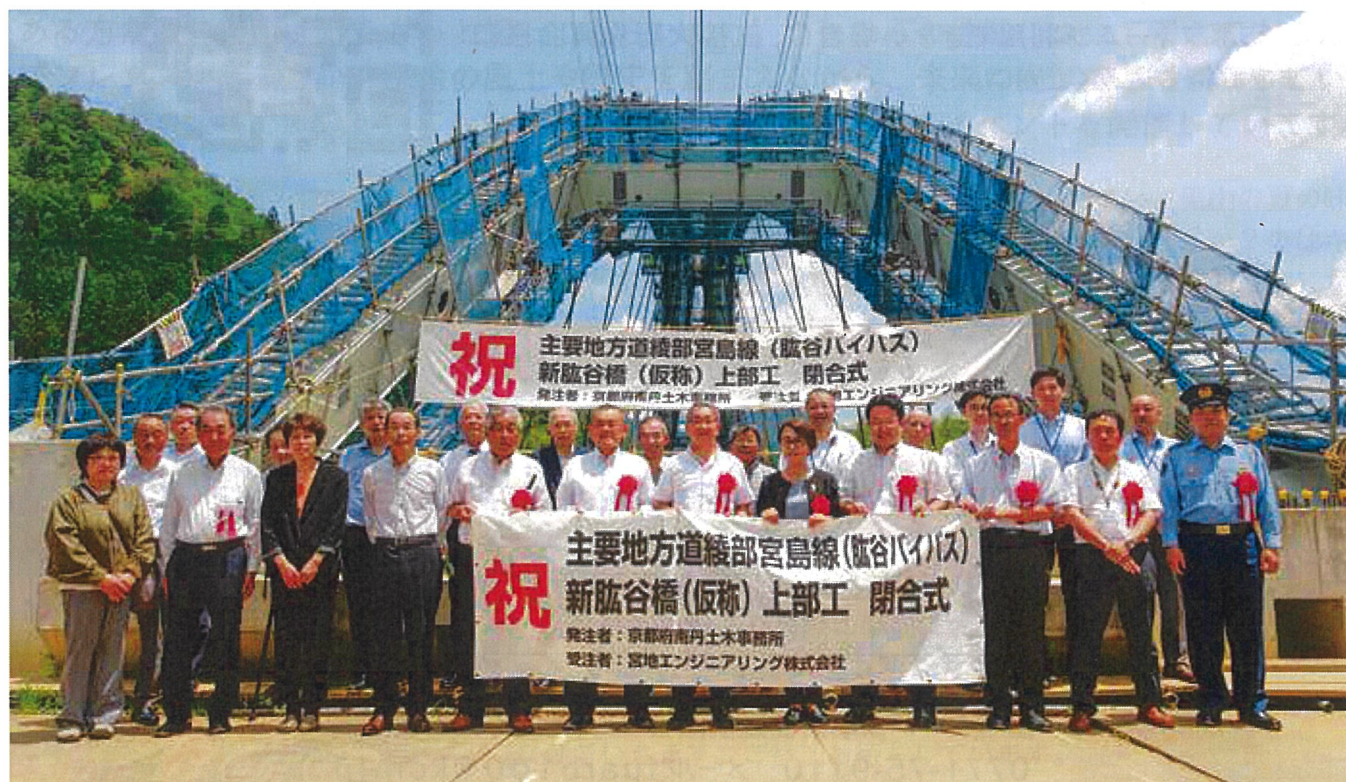
主 催：宮地エンジニアリング(株)

日 時：令和8年7月14日(火) 11時～

場 所：新肱谷橋(仮称)工事現場(南丹市美山町肱谷地内)

内 容：ボルト締結

出席者：南丹広域振興局長、京都府議会議員、南丹警察署長、京都府建設交通部長、
南丹土木事務所長、肱谷バイパス事業促進協議会(大野振興会)、地元関係者、他



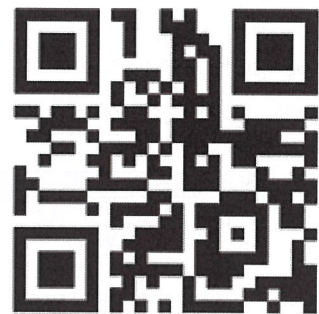
先日もご案内いたしましたが、肱谷バイパスの2橋の名称を募集しています。詳しくは先日配布した名称募集チラシをご確認ください。募集チラシが必要な方は大野振興会窓口にてお受け取りください。

橋の名前を募集しています



先日配布した橋の名称募集のチラシに応募フォームの二次元コードの記載が漏れておりました。こちらの二次元コードを読み取り応募フォーム(メール)にアクセスいただけますと応募できますのでご利用ください。

応募フォームが利用できない場合は、直接大野振興会窓口までお持ち込みください。



橋の名称募集のお知らせは、大野振興会公式Instagramでもご案内しています。



地産地消など厳選した素材を使用した米粉シフォンケーキで
純生クリームや旬のフルーツをサンドしたシフォンサンド。



森の中のシフォンケーキ& 焼き菓子専門店 ふる〜る (川崎 弥生さん)

店舗住所: 向山 [instagram.com/sweets.shop.in.the.forest/](https://www.instagram.com/sweets.shop.in.the.forest/)

主な商品: 米粉シフォンケーキ・焼き菓子・プリン

販売場所: 大野屋・大野ダムさくら祭り・もみじ祭り

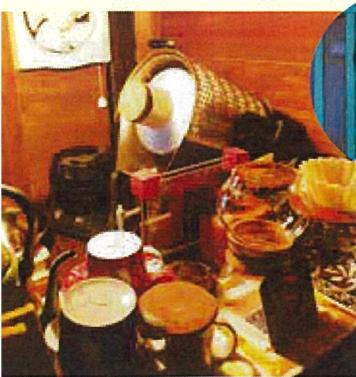
・大野地区交流夏祭り(8/8)・美山町内イベント他



3年前に向山区に移住された川崎さん。自宅横にDIYで整備された工房にて製造販売されています。商品ラインナップは、厳選された素材を使用しふわふわモチモチの米粉シフォンケーキに純生クリームや旬のフルーツをサンドしたシフォンサンドのほかにも、焼き菓子やプリンなど。桃は和歌山県の農家さんを訪れて直接買い付けされるなど、素材の見極めにこだわって製造されています。ブルーベリー(平屋産)、栗(向山産!)美山牛乳やえびさか養鶏場の平飼卵などの美山の食材や京都の食材にこだわって製造されています。最近はキッチンカーによる出店も始められています。

営業日や出店日はInstagramに営業日カレンダーを投稿されていますのでご参照ください。

8/8日の夏祭りには昨年好評で早々と売り切れていたシフォンパフェ、わらび餅ドリンクに加えて、新たにフルーツを使ったかき氷もキッチンカーで販売されます。加えて、備長炭で焼いた宮崎県霧島鶏を使った「焼き鳥」も!お早めに!



ブレンドの名前にもなっている「ホーンバック」「ウォルフ」は夫の江藤政行さんによる「Harry&Malie」(ハリー&マリー:ハリマリ)の世界から引用されています。ハリマリとは主にSNSで活動展開されてきた独自の世界観。オリジナルグッズや2022年に姫路城前大通りにオープンした「ハリマリカフェ」、今春にはキャラクターとJR九州の列車とのコラボ企画など、活躍が広がっています。詳しくは公式HPの二次元コードから。



ブレンド」「ウォルフブレンド」な香りを楽しめる「音ブレンド」、豆の状態でも販売出来ないに取り除いて焙煎するのはお問い合わせください。

「地産地消の商品づくりにこだわっています。
多く作ることができなくても長く継続していきたいです。」

京美風香（大棚 真紀子さん）

加工所：三埜（川谷）

主な商品：佃煮（落・落山椒・ホンモロコ）

調理味噌

（ふきのとう・木の芽・大葉・ゆず・ホンモロコ）

販売場所：大野屋・ふらっと美山・タナセン

大野ダムさくら祭り・もみじ祭り



川谷で採取できる落（フキ）を使って地産地消の特産品にしようと20年程前に製造を始められたそうです。お土産としても使っていただけるよう、季節に応じた素材を活かした商品作りに励んでおられます。気候変動の影響か、鹿などの害獣被害なのか、最近は原材料が少なくなってきているそうです。たくさん作れなくても長く続けていけることを目標に取り組んでおられます。

大野ダムさくら祭り・もみじ祭りにはホンモロコの佃煮を出品いただいております。継続した人気の商品となっています。生きたままのホンモロコを加工するので入手できる時期のみの製造となっています。販売の時期は大体もみじ祭り～さくら祭りの期間だそうです。

季節に応じて原材料が変化する調理味噌は大野屋でも販売されています。大棚さんは大野屋の従業員としても活躍されています。商品に関する情報などは大野屋で直接お問い合わせください。



「地域みんなのお店として必要な大野屋を今後ともどうぞよろしくお願いします。配達（有料）もしていますのでご利用ください。」

みんなのお店 有限会社 大野屋（社長：菅生 和己さん）

営業時間：午前9時～午後6時 定休日：水曜日

商品紹介：食品、日用品など幅広く販売しています。

地元産の旬の野菜、手作りのお菓子やお弁当も販売。

販売場所：大野ダムさくら祭り・もみじ祭り・大野地区交流夏祭り（8/8）



できるだけ地元食材にこだわったグルテンフリーのおやつ。
「本当にシンプルな美味しさを味わってください。」

京都 美山 ひとつぶ (筒井 直子さん)

主な商品: 無投入玄米を使用したパンやおやつ

販売場所: 大野屋・大野ダムさくら祭り・もみじ祭り

プラントベース・ホールフード (Plant Based Whole Foods/PBWF) という言葉をご存知でしょうか? 「野菜中心にする」だけでなく、「植物性のものをできるだけ自然に近い(未精製・未加工)状態で食べる」といった食事のスタイルです。プラントベース: 動物性食品(肉、魚、卵、乳製品など)を避け、植物性食品(野菜、果物、穀物、豆類、ナッツ類など)を中心に選ぶこと。ホールフード: 精製や加工を最小限に抑えた食品のこと。例えば、白米より「玄米」、白い小麦粉より「全粒粉」、加工されたジュースより「果物そのもの」を選ぶイメージです。

アレルギー対応は自身の体質改善をヒントに医食同源の考えから。どなたにも安心して召し上がっていただけるよう、小麦・卵・乳製品・白砂糖を使用せず、無投入玄米を中心に厳選した材料によるシンプルなおやつ作りをされています。

短期間ですが24年前に大野屋でプリンなどの洋菓子を販売され、その後現在の本業のこどもあとりで手作りのパンやおやつを提供される中、これらは全てのこどもや大人によろこんで味わってもらえるのではないかと販売再開を決意されました。「ひとつぶ」は11月で3周年になるそうです。いずれは食事の提供もしてみたいとの考えを聞かせていただきました。



食品保存の観点から暑い時期の販売はお休みされています。7・8・9月は販売休止期間。大野ダムさくら祭りやもみじ祭りにも出品いただいています。グルテンフリーのおやつ。見つかった際はぜひお試しください。



地域の交流拠点としても重要な役割を担う大野屋さん。地域で買い物できるお店としていつも助かってます。大野地域で出資設立されてから、今年で27年目を迎えられています。地域で役立つ商品のラインナップで、草刈り用のナイロンコードや農業用品、自転車用のヘルメット、PPロープや虫除け線香(赤)など、一度じっくりと店内を見て回ってください。こんな商品もあるのかと新たな発見があるかもしれません。

新鮮な野菜、春のタラの芽やコシアブラ・ワラビなどの山菜、さくらんぼやイチジク・スイカ・ブドウ・ブルーベリーなどの果物、旬の食材を取り扱っておられます。肉や魚、パン、各商品の入荷日などはお店の方にお尋ねください。

毎月第4金曜日(にこにこ会の日)は「コロッケの日」としてコロッケを販売されています。年末の大売り出しでは福引や小浜港の鮮魚販売などで賑わいます。

交流夏祭り(8月8日開催)では、今年もジュースやノンアルコールをはじめ、コロッケ・フライドポテト・生ビールの出店を予定されています。

主菜・副菜・デザートすべてが手作りの「家庭でのおかず」がメインの「ばあばの会」のお弁当は毎週木曜日に販売しています。こちらもぜひどうぞ。



「サンタは男性」
アンコンシャス・バイアス
(無意識の偏見や思い込み)

マイクロアグレッション

大野振興会スキルアップ教育セミナー

6月20日土曜日、大野ふれあい館研修室にて、講師に南丹市教育委員会社会教育課の片山統夫様をお迎えし、大野振興会スキルアップ教育セミナー「マイクロアグレッション」について学ぶ人権学習会が行われました。

まず、DVDを鑑賞して「マイクロアグレッション」について学び、鑑賞後は少人数に分かれて互いに意見や感想を「述べ合う」「聞き合う」交流時間があり、活発で有意義なセミナーとなりました。

マイクロアグレッションとは、**無自覚に相手の尊厳を傷つけている言動**のことを指します。例えば、家族や友人、同僚など近く親しい間柄(**マイクロ**)において普段から当たり前のようになっているつもりでも、**無意識の偏見や思い込みや決めつけ(アンコンシャス・バイアス)**、**相手を尊重する意識がおろそかになってしまう(マイクロアグレッションが発生する)**ことがあります。

国籍や人種に関係する事例、他にも「男らしく」「女らしく」「(女性に対して)しっかり男性を支えるんだよ」といった性別に関係する事例など多岐に渡ります。また、「傷つけてしまったのなら謝ります」「悪気はなかったので気にしないで」といった言葉も「気にしている方が悪いのか」という気持ちにさせてしまう可能性があります。



- 相手の感情や考えを決めつけていないか
- 自分の価値観を押し付けすぎていないか
- 尊厳を傷つける表現になっていないか
- 属性にとらわれずに、その人自身と向き合っているか

以前は常識とされていた内容が今、変わってきています。人権についての視点も変化・拡大しているので常に学ぶことが重要です。最近では本やテレビ、映画、インターネット…、様々な表現においても学べる機会が増えています。南丹市においても「多様性を認めあいともに支えあう社会」の実現に向けて、人権についての講演会やイベントが様々あるのでぜひ参加して自分の人権意識をアップデートしてくださいとのことでした。日頃からコミュニケーションの取り方や伝え方を丁寧に考えること(身近な気づき)が、**アンコンシャス・バイアス(偏見や思い込み)がない社会**につながっていきます。

はじめのあいさつの中で『サンタのおばさん』(作・東野圭吾)という書籍をご紹介いただきました。今回学んだ「決めつけ」(ジェンダーバイアスなど)をテーマにしながら、わかりやすく読みやすい絵本です。早速大野振興会で1冊購入しました。振興会窓口にて貸出しています。たくさんの方に手に取っていただき、ご自身やご家族とも共有いただき、人権についての知識のアップデートや「人権とは何か」といった学びを始めるきっかけにいただければと思います。片山様、大変お世話になりました。

連載 美山町包括ケアシステム

美山町包括ケアシステムについて学びを進めています。5つの振興会それぞれの広報誌に同じ記事を掲載しています。さて今回はどんなお話でしょうか？

健康に住み続けられるまち、美山を目指して 11

先日、大野地区で「健康(健幸)の森づくりワークショップ」を開催しました。「自分にとっての健康(健幸)の秘訣=健康因」を葉っぱに書き出し、グループで「健康(健幸)の木」をつくり、それぞれの木を集めて「健康(健幸)の森」にし、自身・地域の健康の秘訣に見える化する取り組みです。

参加者からは、「畑仕事のあとに飲むお茶」「近所の人との話」「草刈りや地域の掃除」「笑うこと」「(誰か)に必要とされること」「(場所)へ行く日課」など、日常のささやかな営みがたくさん挙げられ、とてもイキイキと楽しそうに取り組んでくれました。当たり前と思っていた暮らしの中に、健康(健幸)のクスリが隠れていることを再発見しました。健康(健幸)は、自分だけでつくるものではなく、人や地域との関わりの中で育まれているのだとみんなで気づきました。

今回できあがった木は、それぞれ形も葉っぱも違いました。一人一人に違う健康(健幸)があり、その違いが森の豊かさになります。「健康(健幸)の森」を一緒に育ててくれる方、ワークショップをやってみたい方、地域で一緒に活動して下さる方を募集しています！



にしおか だいすけ
西岡 大輔 医師・社会福祉士・介護支援員専門員
神戸大学大学院医学系研究科 准教授
南丹市国民健康保険美山林健センター診療所所長

「夏編」。

イ田舎イベント



さくらともみじの里
美山大野
2026

このイベントは南丹市定住促進地域イベント支援事業補助金を活用しています

田舎の未来、未来のイ田舎。

私たちが暮らす地域を「イ田舎(いいなか)」(いい田舎)にしていきたい。田舎暮らしに興味がある方たちに美山大野をもっと知ってもらいたい。これからの地域について考えてもらえる地域フレンズを探したい。田舎の風土や歴史を踏まえながら、未来に向けてともに耕していきたい。一緒に楽しい時間を過ごしたい。そんな思いから定住促進イベントを開催しています。

今回は「夏編」。川遊びが楽しい季節を満喫してください。美山の夏の味覚の“鮎”を捕まえて塩焼きやあゆご飯などいかがでしょうか？夜はキャンプ場で地域の夏祭りを開催します。大野地域の雰囲気に触れながらキャンプと屋台ごはんを楽しんでください。祭りが終わったら“星空観察”もオススメです♪

キャンプや遊び目的の方の参加もちろんOKです。ぜひ美山大野を体感してみてください。また「こんなことが知りたい！」といったお声をいただければ可能な範囲でできるだけ対応いたしますので参加申込みの際に事前にお伝えください。このイベントで私たちも学び、このイベントをきっかけに未来のイ田舎につなげていきます。ご参加お待ちしております。

じっくりと、この地の良さを新しく。

田舎に泊まって
遊んでみよう



夏編

イ田舎

～遊ぶ～

一緒に(イ)笑う

水遊びが気持ちいい季節です

あまごや鮎が泳ぐ美山川。SUPもぜひ体験してみてください！

イ田舎イベント 夏編

鮎のつかみどり・夏祭り

日程:令和8年8月8・9日

つかみどり特設会場は近くの小川。

塩焼き(有料)は美山の夏の味。

夜は地域の夏祭りを一緒に楽しみましょう！

キャンプ

×

水遊び

×

夏祭り

キャンプ初心者さんも
安心の廃校キャンプ場で
一泊二日のイ田舎イベント。
川でアユを網ですくって
塩焼きやあゆごはん！
SUPも楽しめます！
夜は地域の夏祭りに参加！
キャンプご飯と屋台ご飯を
同時に楽しめます！
流れ星も見れるかも？

参加申込
受付中



詳しいスケジュールは現在準備中です。決まり次第Instagramにてお知らせいたします

予告 **イ田舎イベント 秋編** 彩り(イ)を分かち合う さつまいもの収穫 日程:令和8年10月17・18日

体験イベントは一泊二日の内容を予定しています。旧大野小学校を利用した大野虹の湖キャンプ場にご宿泊いただき、星空を眺めたり、焚き火をしたり、朝は鳥の鳴き声で目覚めたりと楽しんでみてください。テントやドーム型のタープなどの貸出(有料)もあります。各回、大野ダム湖で**SUP体験も可能(1,500円/時間:イベント参加者特別価格)**です。皆さんの‘未来のイ田舎’をここからスタートしてください。



いずれも天候等の諸事情により、中止や内容変更となる場合があります。ご了承ください。

参加費用(各回)・・・6,000円/人、小学生 3,000円/人
(小学生未満は無料)

参加費用はテントサイト利用料、シャワー利用料などを含みます。(税込価格です。食事は各自でご対応ください。)

SUP体験(1時間):1,500円/人:小学生高学年以上

お問い合わせ・お申し込み先 **美山町大野振興会**
〒601-0772 京都府南丹市美山町大野廣畑1-2
Tel.0771-75-9110 FAX.0771-75-9112
mail:fuarb100@kcn.jp 土日休み

詳細は大野地域紹介サイトやInstagramにてご案内しています

応募の締め切りは各回5日前までです



↑↑↑↑↑
参加申込は
こちらを
ご利用ください



↑↑↑↑↑
Instagramも
ご参照ください

お電話でも申し込みできます 0771-75-9110